

凜々しく ～附属小温故創新～ 2017/11/16 No. 35

外国語地域強化拠点事業！ 3年間のまとめの公開を前に

秋晴れの朝になりました。しかも寒い。でも校庭では今朝も半袖で遊ぶ子どもたちの歓声が響いています。本当に子どもたちは元気ですね。

ここ数日、明日の公開に向けて職員のみなさんには遅くまで準備に取り組んでいただき、本当に感謝しています。指導案の印刷・製本、袋詰作業、会場準備に接待、受付、このようなみなさんの姿にエリザ先生が本当に感激されていました。

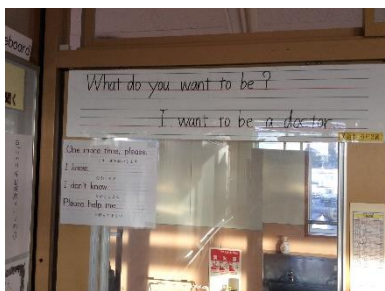
さて、明日は3年間の研究指定のまとめの公開です。

思えば、附属小で外国語（英語等）に取り組み始めたのが平成11年頃。最初は手探りで始めた領域でしたが、多くの先輩方の試行錯誤と努力の成果で、現在の附属小では外国語を学ぶことが当たり前になり、外国語が大事な学校の「文化」として根付いています。



外国語が本校の文化として根付いている象徴の1つが実習棟の English Room です。

この部屋は昔「示範教室1」と言っていて、教育実習の期間、学生に講義をするために活用されていた部屋でした。何もない殺風景な部屋でしたが、外国語を本校で本格的に導入するにあたり、座学よりも体を動かしながら学ぶことを目的にこの部屋の大改造が行われました。今や教室内の掲示はもちろん、授業で使う様々な教材・教具も含めて県内はもちろん国内でも屈指を誇る学習環境となりました。



また、教室をはじめとする掲示や環境の中にも英語が自然に溶け込んでいることに、明日附属小を訪れた多くの方々には驚くことと思います。そして、何より明日の授業です。私たち小学校の教員は決して英語が専門ではなく、今でも試行錯誤しながら自分たちで創り上げてきた授業でありカリキュラムです。この数ヶ月は、全員で英語の授業研修を行い公開に向けて取り組んできました。その中心になって取り組んできた英語部そして推進委員の先生方本当にありがとうございました。子どもたちと一緒に明日は英語を楽しめればいいですね。

(文責：副校長 手代木)